

賀春

あけまして

おめでとう

ございます

三池山の初日の出 撮影：山田吉勝

新年のご挨拶



米の山病院院長

橋口 俊則

明けましておめでとうございます。

皆様は、良い初春をお迎えになりましたか。

昨年米の山病院は、患者様が快適にそして安全・安心の医療福祉を提供できるよう、第三者機関からの評価の受審、患者様の情報伝達が早くなる電子カルテの全面稼働、また服薬指導がこれまで以上に充実するお薬の院外処方などを取り組んでまいりました。新しいことばかりで、ご迷惑をおかけしたこともありましたが、皆様のご協力によってそれぞれの取り組みができたことを、まずお礼申し上げます。

さて2006年は、すでに報道されているように、医療制度や介護保険制度が大きく改悪されようとしています。その内容を見ると『命は平等』という私達の思いを大きく踏みこむものであり、断じて許すことはできません。この問題については、医師会も反対しており、地域の皆様やさまざまな団体とともに改悪反対の運動を進めてまいります。

そして、もうひとつ大きな問題として、日本を戦争する国に変える、9条をはじめとした憲法改悪の動きが具体化してきたことです。『命』と『戦争』は全く逆のものであり、私たちは医療人として、そして世界に誇るこの憲法を守るために、全力を挙げてまいります。

大変な時代だからこそ、皆様と一緒に『いつまでも安心して住み続けられるまちづくり』をすすめてまいります。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療制度改悪に、 反対の大きなうねりを

「金の切れ目が命の切れ目」

政府・与党は、「医療制度改革」によって高齢者への負担をさらに増加させるなど大変な改悪を強行しようとしています。暮らしを破壊し命までも奪う医療改悪を許さない運動を、年のはじめから大いに広げていきましょう。

「医療制度改革」は、4月からの診療報酬の引き下げをはじめ、高齢者の医療費自己負担の値上げ、療養病床に入院する高齢者の食費・居住費の保険外しなど社会保障の公的責任をますます放棄しようとしています。「お金がない人は医療・介護を受けることが出来ない」という状況になりかねません。

今、病院の

相談窓口は、

医療・介護の改悪に苦しんでいる方が毎日のように来

られています。先日もご主人が70歳代、奥さんも60歳代という夫婦二人暮らしのご家庭から次のような相談がありました。

このご家庭はもと自営業であったため、現在は夫婦ともに国民年金受給中であり、このほか収入はありません。月6万円ほどの年金の中から、保険料、税金などの支払いを行い、ぎりの生活を続けておられます。今回、医師から入院を勧められたのですが、「医療費を支払う



ことが困難です」と、入院を拒否されました。そして、ケースワーカーに「できれば入院治療を受けたいが、その後の生活を考えると入院費用は支払うことが出来ない」とお話されました。お金がないからという理由だけで、そんなことが許されてもよいのでしょうか。まさに国民から医療を受ける権利を奪い去ろうとするものです。

「だれもが安心して医療を受けることが出来る」という日本の国民皆保険制度を守るため、皆さんとご一緒にがんばりましょう。



医師紹介

◆総合内科担当

菊川 誠



こんにちは。この度、米の山病院に勤務することになりました菊川誠と申します。出身は、ここ大牟田で平成3年に三池高校を卒業しました。

大牟田を離れてから実に15年ぶりに再び住むのは感慨深いものがあります。

総合内科を担当させていただきます。患者様をトータルにサポートさせていただきたく思っております。

何卒よろしくお願い申し上げます。

共同組織強化月間の取り組みを終えて

毎年、11月～12月は、友の会
会員拡大の強化月間として取り
組んでいます。

今年から、会費の仕組みが年
会員制度から入会金制度に変更
されました。

活動の特徴点と
して病院玄関前で
支部単位での「友
の会コーナー」が
設置され、物品バ
ザーや署名活動、
血管年齢測定を実
施し、729名が
測定を受けられ好
評でした。またス
ーパー等での青空
健康チェックを旺
盛に行い、230
名以上の地域の方
々が受診し、健康
への関心がますます高まっ
ていきます。また支部長さん
と職員との訪問活動も盛ん
におこなわれました。



班長さんを訪問し月間推進を
呼びかけたり、宅配先に電話を
かけ訪問したり、会員さんをお
ぶつて班会に参加するなど様々
な創意工夫をこらし月間を取り
組み、そのなか
ら新しい班を結
成することもで
きました。会員
拡大は245名
となり、前年度
(169名)を
おおきく上回る
取り組みになり
ました。

とくらしと平和」をまもる取
組みを、新しく会員になられた
皆様とともに前進させていきま
しょう。

これからも連
続する医療改悪
の阻止・平和憲
法を死守するた
たかいなど、私
たちの「いのち

班紹介

ありあけ健康友の会

三池支部本村班

班長 下川 博子

三池支部本村班は十年ほど
前、米の山病院の地域担当職
場放射線科からの熱心なはた
らきかけで生まれました。ほ
ぼ毎月平均年齢76才の13人の
メンバーで班会を開
いています。

会等も開き地域に根ざす仲間
づくりをすすめてきました。
仲良く元気でをモットーに、
楽しい班会を続けていこうと
話し合っています。

年間計画を立て、

病院から講師をまね
き、健康な生活を送
るための学習をして
います。全員が「い
つでも元気」を読ん
でいるので、記事に
についても話し合いま
す。

本村地域の臥龍梅
見物、普光寺、定林
寺、紹運寺を訪れて
お寺の由来を聞く班





今年の冬は鍋で！ 豚キムチ鍋



材 料 (2～3人分)

豚バラ肉…300g (5mm厚)
豆腐…1/3丁 キムチ…300g
長葱…1/2本 春菊…15g
油…適宜
にんにく…(みじん切り)…小さじ1

作り方

1. 鍋に油を熱して、豚肉とにんにく小さじ1/2を炒める。
2. 1に汁ごとキムチを入れ、水500ccを注いだら、蓋をして沸騰させる。
3. ねぎと豆腐を入れ、にんにく小さじ1/2を入れて、全体の味を整え、最後に春菊を散らす。

ここがポイント！

味が薄ければキムチの汁又は塩で調べて！キムチの乳酸菌は作ってから50日目位がピーク。このころが一番おいしく食べられる。鍋に入れるなら少し酸っぱくなった方がおいしい。



クイズ 頭の体操

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。〆切は2006年1月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。正解と当選者は次号に掲載します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

赤い帽子が3つ、白い帽子が2つある。

王様が3人の兵隊に前へならえをさせ、それぞれに5つの帽子の中の1つをかぶらせ、残りの帽子を彼らにわからないように隠した。一番後ろの男は、前のふたりが何色の帽子をかぶっているか見えているが、自分の帽子の色はわからない。真ん中の男は、いちばん前の男が何色の帽子をかぶっているか見えているが、自分の後ろの男の帽子の色はわからない。いちばん前の男は、誰が何色の帽子をかぶっているのか全くわからない。王様は、まずいちばん後ろの男に、「自分の帽子が何色かわかるか」と質問した。男は「わからない」と答えた。次に王様は、真ん中の男に同じ質問をした。男は、やはり「わからない」と答えた。最後に王様は、いちばん前の男に同じ質問をした。男は「わかった」と答えた。さて、ここで問題。いちばん前の男は何色の帽子をかぶっていたのだろうか？

